



扇小だより

考える子 思いやりのある子 強い子

令和8年度第 26号

52年目

「信」から創る

10月9日 児童数672名

人間市立扇小学校

運動会に向けて全力で進む

学校長 村越 新

10月8日（木）、運動会全体練習の場で、**今年のスローガン**が発表されました。計画委員の子たちが、扇っ子の声を吸い上げ、今年の運動会にふさわしいものにしてくれました。

第52回人間市立扇小学校運動会のスローガンは

「全力で 心を一つに つき進め、

です。

この時の練習では、**開会式の位置確認**、**歌**（校歌、運動会の歌）、**応援合戦**、**大玉送り**の練習をしました。応援団の指導の下、各クラスで練習を続けてきた応援合戦は迫力がありました。まだ揃っていないところがありますが、**300人**を越える子が一斉に張り上げた大声は、まさに青空に届くようでした。大玉送りでは、なかなかスムーズに玉が進まず、跳ね上がったたり落ちたりしました。あと一回の練習で、大玉が気持ちよく進むようになることを願います。

この日の6校時は、高学年による**準備作業**でした。当日の仕事の練習をしたり、準備をしたり、美化活動をしたりと張り切って取り組んでくれました。仕事が早く終わった子は、**応援練習**を始めました。「全体練習の時は声が出ていなかった」「もっと思いっきり動こう」など、団長の声が聞こえてきました。五、六年生だけでしたが、全体練習に負けないほどの声が校庭に響き渡りました。今年の応援団の子も、本気で運動会を**盛り上げよう**としてくれています。

集団演技の練習も、順調に進んでいるようです。本番を楽しみにしたいのであまり見ないようにしていますが、校長室に聴こえてくるマイクを通した**担当者の声**で分かります。「子供たちが**本気**でやっていること」「完成が近づいてきていること」

そして「本番では、大きな**感動**をもらえること」が伝わってきます。

スローガンそのままに、扇っ子だけでなく教職員も全力で心ひとつに突き進んでいます。当日は、どうぞあたたかいご声援をお願いいたします。

*全体練習の感想は、HP「扇っ子の声」にあります



メディアと言葉

10月5日(月)児童朝会では、生活委員会が作成した動画を各クラスで見て、考えました。

動画の内容は、およそ次のようなものです。



場面1 友だちとの休み時間の会話

「授業きらい」「おもしろくない」「宿題おもしろくない」「やりたくない」
「〇〇さんは給食、食べすぎだよ」・・・

場面2 部屋でゲームをしている

母に「やめなさい」と言われてもやめず、朝までやってしまう

↓

委員会からのメッセージ1 「正しい言葉をつかおう！」

- ・先生には、丁寧な言葉を使う
- ・言葉づかいが悪いと、凶器になる
- ・友だちに悪口を言ってはいけない

委員会からのメッセージ2 「メディア時間を減らそう！」

- ・寝る前にゲームをすると、眠りが浅くなる → 健康に悪い
- ・1時間以上ゲームをすると学力が下がる → 健康に悪い

感想は、本校HP「**扇っ子の声**」に載せました。「ふわふわ言葉を使っていく」「良い言葉を使う」「ゲームの時間を減らす」「スマホを触らないようにする」などの内容が多かったです。委員会の子が、県学習状況調査を踏まえて「**本校の課題**、ととらえてくれて、作ってくれたメッセージです。ご家庭でも話題にしていきたいと思います。

あいさつ



10月2日(金)の生活目標朝会では、担当よりあいさつの大切さについて、話がありました。「本校に着任して間もないころ、六年生の子に**あいさつをされて**、とても気持ちがよかった」「**目を見て**あいさつをしてくれる子が多く、感激した」話をしてくれました。

校内では、扇っ子がよくあいさつをしてくれます。登下校を見守ってくれる方々に、より気持ちの良いあいさつができるようになると、学校がさらに明るくなると思います。